

# 広島大学大学院 救急集中治療医学

志馬 伸朗 教授

**読者へのメッセージ：**救急集中治療医学／救命救急・集中治療医療の特徴は、コラボレーションだと思います。多種多様な急性期医療の得意／専門分野を持った救急集中治療医が集い、各専門診療科や、メディカルスタッフと力を合わせて、患者さんを一人ひとり救っていく、これが私たちの使命でもあり目標でもあります。

しかし現実はその容易ではありません。できることは限られています。急速に展開する病態ゆえに、また、医療の限界を超えた複雑性や困難性ゆえに、救命し得ない、社会復帰し得ない事例を経験することはまれではありません。

一方で、転帰を改善し得る余地が少しでもあるからこそ、総力を結集する意義があると捉えることもできるでしょう。私たちは現実に真摯に向き合い、限界を認識しつつも、可能な限り提供し得る知識と技術を持って今日も診療に当たります。その中で、一人ひとりの医療従事者が進化し続ける努力を止めないこと、そしてその力をうまくコラボすることを目指すのです。

私たちのこの取り組みや考えに共鳴し、加わっていただけの仲間を、求め続けています。

**教室紹介：**当院は全国でも数少ないドクターヘリを有する高度救命救急センターの一つであり、希望者はフライトドクターとしての研鑽を積むことができます。救命救急センター（20床）には広域広島圏域から重症外傷、重

症熱傷、重症呼吸不全、敗血症、小児重症疾患を含め多彩な病態が集約化されます。救急科専門医、集中治療専門医は多数おり、十分な指導が行えます。外科系救急ではないため、当科で開腹手術などは行いませんが、院内での協力体制は万全であり、救急を行う上で特に困ることはありません。

院内急変・重症患者を主に扱うICU(6床)・HCU(8床)も当科で管理しており、人工呼吸管理・体外循環症例を十分に経験できます。特にVV-ECMOについては全国有数の症例数であり、若手から積極的に管理に加わることが可能です。また、小児患者においても、院内の重症患者や県内から内科疾患・外傷を含め集まるため、最新の治療と手技を学ぶことが可能です。

単施設あるいは国際研究を含めた多施設共同研究・学会発表・論文作成を積極的に行っており、皆が学術的見地を意識して日々診療しています。大学院進学も積極的に推進しています。新しい診療機器や薬剤に関する産学共同研究も積極的に行っています。

現在6人の女性医師(1人は国内留学中)がおり、そのうち1人は子育てをしながらフルタイムでスタッフとして働いています。研修医も含め、ガッキー出演の“コード・ブルー”のように女性医師の多い華やかな職場で、今後も女性医師が増える見込みです。完全交代制勤務であり、男性でも育児のため勤務調整を行うことも十分可能であり、個々人に応じたワークライフバランスが可能となっています。

文責：志馬 伸朗



## DATA

広島大学大学院 救急集中治療医学  
〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3  
home.hiroshima-u.ac.jp/kyukyu/index.html  
kyukyu@hiroshima-u.ac.jp  
構成：医局員数／31人、指導医数／5人、  
研修医数／毎月7人程度がローテーション